焼津市立東益津中学校いじめ防止基本方針

【PTA・地域との連携】

- ・保護者への連絡は、電話連絡 だけでなく、出来る限り、直 接会って説明する。
- ・保護者会・学校運営協議会など、情報交換の場を設ける。

【校内研修等】

複数回、生徒理解研修会・特別支援 研修会を行い、生徒の生い立ちや小 学校時代や生活の様子などの情報 交換をもつ。教職員全体で共通理解 を図り支援計画を立て生徒の変化 にいち早く気付くよう努める。

【月指す子ども像】

- (1) 自分のよさを発揮し、主体的に学ぶ生徒(自立)
- (2) 他とよりよい関係を築き、共に高まろうとする生徒(共生)
- (3) 夢や目標の達成に向け、やり抜く生徒(挑戦)

【いじめ対策委員会】

校長・教頭・教務・生徒指導主事・学年主任・養護教諭・SC・SSW 〇必要に応じて、関係機関に参加の要請をする。

〔学校評価〕

いじめ対策の取り組みの実施状況を確認し、成果と課題を明確にする。

【生徒指導体制】

- ・いじめへの対応は、個人ではなく組織で対応する。
- ・いじめ情報を得た場合、即座に「いじめ問題対策委員会」を開き、即日対応する。

【関係機関等】

- 焼津市子ども家庭相談センター
- 焼津市青少年相談センター
- 焼津警察署生活安全課
- スクールサポーター
- 児童相談所
- SSW(スクールソーシャルワーカー)

【教育相談体制】

・特別支援コーディネーターを中心に、SC、SSW、心の教室相談員、特別支援教育支援員と密に連絡をとり、早期発見・早期対応へのアドバイスをしてもらう。

【未然防止の在り方】

- ・学級担任は、生活の基盤となる学級がどの生徒にとっても居心地の良い場となるよう、いじめの起こりにくい集団づくりに努める。
- ・道徳の授業で「いじめ防止」関連 の教材を扱い、道徳的価値観を高 める機会をつくる。
- ・学級活動・生徒会活動の中に、生 徒が主体的にいじめをなくすため の活動を取り入れる。

【早期発見の在り方】

- ・生徒が出すサインをキャッチする 為、毎朝の健康観察で個の様子や 日々の学級の雰囲気に注目すると ともに、生徒が毎日提出する生活 ノートや年3回の「生活向上アン ケート」から情報を収集する。
- ・年2回勇気づけ面談(個別)を行い、 生徒の集団における満足度や学級 集団の状態を把握し、学級作りや いじめ被害の早期発見に生かす。

【早期対応の在り方】

- ・報告・連絡・相談を出来る限り速 やかに行い早期に対応する。
- ・問題発生の際には、学校組織を最大限に生かし、複数で対応する。問題共有は、速やかに学年間及び学校内での情報交換を行い、全校体制で該当生徒に関わっていく。
- ・状況により関係機関などと協力し ながら、全職員の共通理解や共通 実践で対応することを旨とする。

【継続支援の在り方】

- ・支援員・相談員・SC・SSW等 との支援連絡会を毎週もち、継続 的な見届けと支援を行う。生徒か らの情報も把握し、状況の変化に 対応する。
- ・生徒理解研修やケース会議で、生 徒の状況を把握し、関係機関から の助言を求めながら、全校体制で 支援をしていく。

【重大事態】「焼津市いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、事実確認の結果を直ちに焼津市教育委員会に報告し、連携して対処する。

焼津市立東益津中学校 いじめ防止対策年間計画

月	組織・連携・点検・評価等	②未然防止	③早期発見・対応と継続的支援
4	・生徒理解研修会で生徒理解の共通化を図り、支援方針を立てる。【P】	・学級担任による二者面談。【D】・エンカウンターを取り入れたコミュニケーション活動。【D】	・毎日提出する生活ノートや生徒の様子から情報を収集する。【D】 ・学級懇談会等、保護者からの情報収集の機会を設ける。【D】 ・勇気付け面談(担任との二者面談)を行う。
5	特別支援研修を行い、研修会での支援方針を基に該当生徒の支援計画を立てる。【P】	・ 生徒会を中心とした体育大会の企画 と準備。【D】	・勇気付け面談(担任との二者面談) を行う。
6	人権教育研修会参加(人権担当)。【D】研修後、全職員で研修内容の共有を し、以後の人権教育に生かす。【A】	• 生活向上アンケートを実施。【C】	・生活向上アンケートの情報を共有すると共に、取り組みの修正をする。 【A】
7	特別支援研修を行い、5月に立てた 支援計画から、生徒のあらわれの様 子や変化を全校で話し合い、支援の あり方の向上を図る。【A】		
8			
9	対象となる事例があれば、速やかにいじめ対策委員会を組織して即日対応する。	・エンカウンターを取り入れたコミュニケーション活動。【D】・生徒会を中心とした体育大会の練習と運営【D】	
10	必要に応じてSC・SS W等の関係機関に参加の 要請をする。	生活向上アンケートを実施して生徒から情報収集を図る。【C】文化発表会に向けての合唱活動。【D】	・1学期の生活向上アンケート時と比較し、新たな問題が発生していないか確認する。【A】・学級懇談会を設け、保護者からの情報収集の機会を設ける。【C】
11		•「人権尊重」をテーマにした道徳学習。 【D】	
12		• 保護者 • 生徒 • 職員アンケート実施。【C】	アンケートの結果の確認と対応。【D】 3 学期以降に向けての計画修正。【A】
1			
2	・教育課程全体会及び校内委員会で本年度のいじめ防止対策の実践を評価し、成果と課題を洗い出す。【A】	・生活向上アンケートを実施。【C】	・アンケートの結果の確認と対応。【D】
3	・教育課程全体会及び校内委員会で課題に対する対策及び次年度のいじめ 防止対策のあり方を検討する。【A】		